

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2014/07 後期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 夏休みの勉強 7つのポイント◆

湖陵祭にむけて精一杯のエネルギーを注ぎ込みことができたでしょうか。特に 3 年生の行灯や歌合戦、演劇はすばらしいものがありましたね。

さあ、まもなく夏休みですが、夏休みの学習計画は立てたでしょうか。行き当たりばったりの勉強だけでは受験学力がつかないことを、黄金週間のときにもお話ししました。夏休みは、その時より期間が長いだけに「効果」も大きいかわりに、「被害」も大きくなるので、真剣に頑張ってみましょう。

【夏休みの勉強ポイント① 夏季講習】

「寝坊してしまったので、午後の部活動から参加しよう」などという甘っちょろい考え方は、とうてい受験では戦いきれない。休むことなくきちんと受講することが大切である。講習内容は、担当の教員が特に必要と考える内容がつまっているはずである。重要な内容を一気に学習する好機である。3 年生は人生最後の夏季講習にすべく、がんばれ。

【夏休みの勉強ポイント② 夏季講習の復習】

夏季講習の復習も大切である。復習とは、家で解答集等を見ずに解き直したり、辞書や資料集などを使って確認したりすることだ。それを実行するからこそ、力がつくのである。ここで陥りやすい罠がある。学校の講習も学校外の講習も生徒が理解できるように説明がなされる。その場では、「わかった」感じがするからこそ、「わかったんだから復習はいらない」と思っている高校生が多い。わかったと思っているものを、きちんと答案として自力で「解けるかどうか」をもう一度、同じ問題に挑戦してみることを通して確認する。それが復習だ。

テキストのやりっ放しは中学生にでもできる。中学生は大学には行けない。つまり中学生の時と同じ勉強の仕方や勉強時間では、大学受験に失敗する。こんなことははじめからわかっていることだ。もう一度、自分の勉強方法・時間を見直そう。

【夏休みの勉強ポイント③ 普段の遅れを取り戻す】

苦手な科目や練習量が足りていない科目は誰しもある。日頃、足りないことに取り組むいい期間である。数学が苦手だから、数学の「 ○○ 」という分野を集中的にやろう、などのように決めて学習しよう。

【夏休みの勉強ポイント④ 夏季講習が終了した日とその次の日】

夏季講習がなにゆえ、夏休みの最初にあるのか。なにゆえ、普段とほぼ同じ時間から始まるのか。それにはきちんとした理由がある。

夏季講習が大切とはいっても、講習ですべてのことが勉強できるわけではない。その後の夏休みの勉強の「きっかけ」という要素があることを覚えておいて欲しい。講習に出ることによって、自分の弱点が見えたりすることもあるだろう。自分の勉強計画を変更しなければならないかもしれない。夏季講習は残りの夏休みを勉強面で意味あるものにするために、夏休みの最初に置かれている。

時間についてもはわかるだろう。生活のリズムを整える意味もある。

これらのことから、

①夏季講習の最終日、家に帰って勉強しないのは、もつてのほかである。ここからを有意義にするための「きっかけ」なのに、「きっかけ」として利用していないからである。

②夏季講習が終了した次の日、部活動に入部していない人、あるいは部活動が午後から始まる人が、朝ゆっくり寝て、午前中まったく勉強しないというのも、「きっかけ」として利用していない。なかなか言うように簡単にはいかないのは十分承知で、それでも敢えて言う。講習終了の次の日も、部活動が午前中にある人を除いて 8：40～勉強してみよ。実行できた人は、次の日もできる。それが「きっかけ」としての使い方である。

【夏休みの勉強ポイント⑤ スマートフォン等】

携帯電話・スマートフォンなどに使う時間が多すぎる。とにかく多すぎる。得なくてもよい情報にまみれると疲れるだけである。そこで疲れても勉強時間が減らないタフな人はどれほどいるのか。そんなことで、勉強時間を減らすことは、自分が自分の夢から遠ざかっていることを意味する。

【夏休みの勉強ポイント⑥ 3年生は1日10時間を継続】

1 日の学習時間は、集中できるならば、もっとやった方がいい。でもと言う人は、10 時間は勉強しよう。本当は時間だけではなく「質」も重要なので、勉強を積み重ねて来た人は、自分のペースで継続させればよい。ここでは、いままで、勉強が不足していた 3 年生についてである。10 時間というのは、なんとなくだらだら 10 時間机に向かっているという意味ではない。休憩等の時間を除いて 10 時間できるかどうか、挑戦してみよ。ただし、まだ部活動を引退していない人もいるだろう。その人にとって、10 時間は無理だと思う。しかし、時間はなくても勉強はできる。「計画」で勝負である。時間がすくないのに、なおかつ行き当たりばったりの勉強では、勝ち目はない。部活動をやりつつ、勝ちたいならば、やることを少し整理したり、家に帰ったあと、何から勉強するのか、きちんとイメージすることが大切である。以下の計画について、必ず実行してほしい。

【夏休みの勉強ポイント⑦ 計画】

勉強の計画については、何度も言っているので、その重要性はわかってもらえていると思うのだが、実際考えない人が多すぎる。

- 1 夏休みにすべきこと（したいこと）を書き出す。
- 2 いつやるのか、どれくらいずつやるのかを考え、書く。

計画通りにいく勉強計画は稀である。自分がすべきことが明確になるだけでも、実は価値がある。もし、自分でどのように計画を立てればよいかわからない人は、裏面を利用しよう。

★夏休みは「進路」そのものについて考えるのによい期間。保護者の方ともじっくり話してみることを強く勧めます。

平成 26 年度 夏休みの勉強計画

() 年 () 組 () 番 ()

■夏休みの計画を考える

①夏休みに達成したい目標を決める。

②各教科で取り組みたい（取り組まなければならない）ことを箇条書きにして整理する。

【教科・科目名】

使う教材	内容（ページ数など）

【教科・科目名】

使う教材	内容（ページ数など）

☆欄は作りましたが、全教科、同じ時間勉強せよという意味ではありません。個人の作戦にゆだねます。

【教科・科目名】

使う教材	内容（ページ数など）

【教科・科目名】

使う教材	内容（ページ数など）

【教科・科目名】

使う教材	内容（ページ数など）

★この内容をどんな形で実行するのか、1日ごとの計画は、各自で作成してみよう。